

令和元（平成31）年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号	11
部	子ども健康部	課	子ども支援課

1. 指定概要

施設概要	名称	岡山こどもの家		建設年	平成23年（大規模修繕 年）		
	所在地	近江八幡市加茂町1524番地2		利用対象	全市 地域		
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。					
	規模	敷地面積 1,784㎡、延べ床面積 110㎡、階数 地上1階					
	指定管理開始年度	平成23年					
指定管理者	名称	NPO法人はちまんキッズ					
	所在地	近江八幡市金剛寺町811					
指定管理業務の内容	①こどもの家の利用に関する業務 ②こどもの家の施設の維持管理に関する業務 ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務						
指定期間	平成27年4月1日 ~ 令和2年3月31日（5年間）						
指定管理料	平成29年度： 一 千円	平成30年度： 一 千円	令和元年（平31）年度： 一 千円	令和2年度： 一 千円（見込）			
利用料金制	採用している		選定方式	公募		応募者数	1者

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和元(平成31)年度実績	担当課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	① 施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	① 施設の維持管理及び整備を実施 ・ 日常の掃除、施設の安全点検、除草作業等、指導員が随時実施	(よかったと評価できる事項) ・ 児童の安全確保に努め、特に衛生面の管理において適切に施設の維持管理を実施した。 (改善を要した事項と対応) 特になし (課題) 特になし
	(サービスの運営業務) 施設の運営向上策)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 保護者会による意見交換、その他学童だよりや送迎時の日常的なコミュニケーションによる。 ②利用料金の徴収 毎月徴収。平成31年度収入 3,270千円 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 延長保育は19時まで実施している。	(よかったと評価できる事項) 特になし (改善を要した事項と対応) 特になし (課題) 特になし
	(提案内容の実施業務) 自主事業 その他の業務	なし		(よかったと評価できる事項) (改善を要した事項と対応) (課題)

施設設置の目的達成状況	(施設利用状況 利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・開設日数：263日 ・延べ利用者数：5,322名 ・平均登録児童数：28名 	(よかったと評価できる事項)
				特になし
				(改善を要した事項と対応)
				特になし
				(課題)
				特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和元（平成31）年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	■収入（22,870千円） 保育料等 10,300千円 業務委託料 12,570千円 ■支出（22,559千円） 人件費 19,838千円 管理運営費 2,720千円	■収入（10,733千円） 保育料等 3,270千円 業務委託料 7,463千円 ■支出（11,037千円） 人件費 9,036千円 管理運営費 2,001千円	特になし (改善を要した事項と対応) 特になし (課題) 特になし
	※H28年度より、隣接施設（ふれあいホール）の目的外利用にて開設した1クラブ分を合わせて計上。		

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	・年5回保護者会を行っている。保護者会役員とは都度連絡をとり、意見交換をしている。
評価頂いている内容	・毎月のお誕生日会等の子どもを楽しませるイベント等を企画している。相談事があれば、時間を作って対応している。子ども達の安心安全な場所を作っている。
苦情・意見等	・旧こどもの家の新学校及びグラウンドへの往来ルートの安全が不安である。旧小学校解体工事の際の安全面が不安。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要な児童や食物アレルギーの児童に対する情報の共有を関係機関と行いたいので、クラブの利用決定時に情報提供の同意を保護者にもらえるような仕組みを作ってほしい。 ・配慮を必要とする子への理解を深めるため専門的な知識のある方の意見を聴ける場を設けてほしい。 ・地域の学校・幼稚園・保育園との連携をはかるための意見交換できる機会を定期的に設けてほしい。
--

6. 指定管理者の自己評価コメント

保護者との日常的な会話を積極的に行い、子どもや家庭の悩みや困りごとに気づけるよう心がけた。季節ごとの行事や子どもたちの主体的な活動など様々な体験を通して、子どもたち一人ひとりの良い所に気づけるようにした。学習会・講習会に参加し、保育に必要なスキルを身に付けられるようにした。地域の行事にできるだけ参加し、地域の学童として理解してもらえるよう努力した。室内での人数が多くなる中でふれあいセンターの利用を行いました。衝突等のけがが多かったため利用を中止しました。室内における安全対策が不十分であったので改善します。

7. 所属の総括コメント

新型コロナウイルス感染症に伴う小学校の臨時休校時には、午前中からの開所等、最大限の保育体制を整えていただいた。利用児童の増加に対応する為、旧岡山小学校プレハブ校舎を貸与し、児童を分割して運営しているが、安全な運営に協力いただけた。また、地域行事への積極的な参加など地域や小学校との連携にも取り組もうとしている点、学習会・講習会に参加するなど、スキルアップの姿勢は評価している。引き続き必要な支援員の確保に取り組んでいただき、地域や小学校、支援員間での連絡を密にしながら、一段のサービス向上及び適正な施設の維持管理に努めていただきたい。